



月刊 部員新聞

2010年1月 第50号

編集・発行 Unit

どうなのバンクーバー

2月12日から28日まで、カナダのバンクーバーで第21回オリンピック冬季競技大会が開催されます。

これからの時期は各競技でライバルを打ち負かし、切符を手に入れた競技者が、続々と現地に乗り込み、調整を行ってゆくことになると思います。

選手団概要

団長は参議院議員でスケート連盟会長でもあり、夏冬併せて7回のオリンピック出場を果たしている橋本聖子氏です。

6競技（スキー、スケート、バイアスロン、ボブスレー、リュージュ、カーリング）で94名の競技者と、90名の競技役員、21名の本部役員の合計205名が日本代表選手団として登録されています。残念ながら男女アイスホッケーと男子カーリングは出場権を得ることができなかったため今回の出場はありません。また女子アルペンについては出場権はあったのですが、派遣を行わない形になっています。

種目によっては複数回参加のベテランから、15歳の中学生まで非常にバラエティに富んだ構成になっています。しかし関係者ばかり

が盛り上がっていて、世間的にはそのような雰囲気は全くないような気がします。

盛り上がっている？

冬季オリンピックは夏季オリンピックと比較して、メディアも含めた盛り上がりがいまいちなのは感じていたが、今回はさらに輪をかけて盛り上がっていないように感じます。

もちろんスポーツニュース番組などでは、特定の競技者の様子が流されていたり、CMでは「○○を応援しています。」などが流れています。仕方がなくという雰囲気も否めませんが、それよりもオフシーズンの野球の話題の方に、力を入れていく感じもします。

首都圏キー局のウェブサイトを覗いてみると、トップページにオリンピック関連の紹介をしているものは、今の段階ではありませんでした。

スポーツのページに飛んで、スケート関連の番組紹介がある程度でした。それよりも先の日程のゴルフやサッカーワールドカップのものはあるにもかかわらずです。

天候のせいか
長期予報では暖冬傾向

向とも言われていました。しかしふたを開けてみれば、降雪に関しては昨年以上の場所も多いようです。

この先はまた冷え込む時期もあるようですが、関東地方は比較的暖かい日も多く、春にはまだほど遠いこの季節ですが、気持ちはずっかり春の気分です。

そのような時期に冬季オリンピックと言われても、関係者以外はピンとこないのではないのでしょうか。

他の理由は

メディアにとって競技の話題が少ない事も一つの原因でしょう。フィギュアスケート関連は競技自体が放映され

ていることもあり、まだメジャーではありませんが、そのほかの競技においてはスポーツニュースで出ることがあっても、競技自体が番組として放映されることはほとんどありません。

それぞれの競技も見方かつてくると、どれも面白いものなのですが、各競技団体がそれをうまくアピールできていないことが一番の問題なのではないかと思えます。

視聴率での判断か

そうはいつてもNHKを筆頭に、民放各局でもある程度の種目の放送予定が組まれています。

ただ民放はスケート、カーリング、モーグルなど、ある程度視聴率が見込めるものしか

予定されておらず、そのほかの種目はNHKに頼るしかありません。

しかし考えようによっては、予想メダル数や今日の○○など、競技以外の部分でお祭り騒ぎをされるよりも、競技をしつかりと見ることができるとは思いません。

メダルを取った瞬間から、手のひら返しでメディアが殺到する。そんなことが続くようであればメディアの競技力を見抜く力がまるでないといっているようなものです。

参加するすべての競技者にはそんなメディアをあざ笑うかのような、すばらしい競技成績を是非残せるように、力を出し切ってもらいたいですね。

日本代表選手団 種目別人数

競技・種別	選手			役員	合計
	男子	女子	計		
1.スキー	20	16	40	36	76
1アルペン	2	0	2	6	8
2クロスカントリー	2	4	6	5	11
3ジャンプ	5	-	5	4	9
4ノルディック複合	5	-	5	4	9
5フリースタイル	5	5	10	9	19
6スノーボード	5	7	12	8	20
2.スケート	17	18	35	40	75
1スピードスケート	10	9	19	17	36
2フィギュアスケート	4	4	8	16	24
3ショートトラック	3	5	8	7	15
3.アイスホッケー	0	0	0	0	0
4.バイアスロン	1	1	2	2	4
5.ボブスレー	6	3	9	6	15
1ボブスレー	4	2	6	3	9
2スケルトン	2	1	3	3	6
6.リュージュ	1	2	3	2	5
7.カーリング	0	5	5	4	9
8.本部	-	-	-	21	21
合計	49	45	94	111	205

2010年1月28日現在

Unit代表 澤野 博（さわの ひろし）

日本体育大学卒。社会人経験を経て欧州へ留学。乳酸を中心としてトレーニングを幅広く学ぶ。帰国後、部員となって競技者を支えるという意味で「Unit」を設立。競技種目、競技レベルを問わずトレーニング指導を中心に活動。医療系国家資格の臨床検査技師の資格を持つ異色のフィジカルコーチ。NSCA CSCS、JADA DCOなども保有。
ご意見、ご要望、仕事依頼、お問い合わせは下記まで。
0422-34-5055 (Fax 兼用)、090-1999-2845 または sawano@team-unit.com